

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成19年2月1日(2007.2.1)

【公表番号】特表2006-519795(P2006-519795A)

【公表日】平成18年8月31日(2006.8.31)

【年通号数】公開・登録公報2006-034

【出願番号】特願2006-504448(P2006-504448)

【国際特許分類】

C 0 7 D 401/04	(2006.01)
A 6 1 K 31/4545	(2006.01)
A 6 1 P 3/10	(2006.01)
A 6 1 K 45/00	(2006.01)
A 6 1 P 3/06	(2006.01)
A 6 1 P 9/10	(2006.01)
A 6 1 P 5/50	(2006.01)
A 6 1 P 43/00	(2006.01)

【F I】

C 0 7 D 401/04	C S P
A 6 1 K 31/4545	
A 6 1 P 3/10	
A 6 1 K 45/00	
A 6 1 P 3/06	
A 6 1 P 9/10	1 0 1
A 6 1 P 5/50	
A 6 1 P 43/00	1 1 1

【手続補正書】

【提出日】平成18年12月8日(2006.12.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

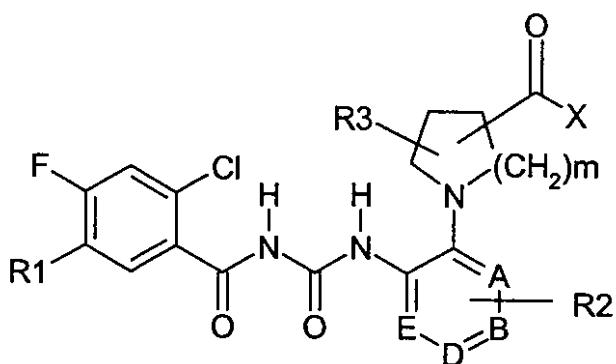
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

式I

【化1】



[式中、

R1、R2は各々独立してH、F、Cl、Br、(C₁-C₆)-アルキル、CF₃、OCF₃、NO₂、CN、O-(C₁-C₆)-アルキル、COO(C₁-C₆)-アルキル、COOH、CO-(C₁-C₆)-アルキル、(C₀-C₆)-アルキル-COOH、(C₀-C₆)-アルキル-COO(C₁-C₆)-アルキル、SO₂-(C₁-C₆)-アルキルであり；

R3は、OH、(C₁-C₆)-アルキル、(C₀-C₆)-アルキル-アリール、O-(C₁-C₆)-アルキル、O-(C₂-C₆)-アルケニル、O-(C₂-C₆)-アルキニルであり、ここで、該アルキル、アリール、アルケニル及びアルキニル基は、F、Cl又はBrにより単-又は多置換されてもよくな；

Xは、OH、O-(C₁-C₆)-アルキル、NH₂、NH(C₁-C₆)-アルキル、N((C₁-C₆)-アルキル)であり；

A、B、D及びEは、各々独立して、CH又はNであり、そして少なくともA、B、D及びE基の1つはNを意味し；

mは、0、1、2である]の化合物及びその生理学的に受容可能な塩。

【請求項2】

R1、R2は各々独立してH、F、Cl、Br、(C₁-C₆)-アルキル、CF₃、OCF₃、NO₂、CN、O-(C₁-C₆)-アルキル、COO(C₁-C₆)-アルキル、COOH、CO-(C₁-C₆)-アルキル、(C₀-C₆)-アルキル-COOH、(C₀-C₆)-アルキル-COO(C₁-C₆)-アルキル、SO₂-(C₁-C₆)-アルキルであり；

R3は、OH、(C₁-C₆)-アルキル、(C₀-C₆)-アルキル-アリール、O-(C₁-C₆)-アルキル、O-(C₂-C₆)-アルケニル、O-(C₂-C₆)-アルキニルであり、ここで、該アルキル、アリール、アルケニル及びアルキニル基は、F、Cl又はBrにより単-又は多置換されてもよくな；

Xは、OH、O-(C₁-C₆)-アルキル、NH₂、NH(C₁-C₆)-アルキル、N((C₁-C₆)-アルキル)であり；

A、B、D及びEは、各々独立して、CH又はNであり、そして少なくともA、B、D及びE基の1つはNを意味し；

mは、1、2である、

請求項1の式Iの化合物、及び、その生理学的に受容可能な塩。

【請求項3】

R1は、H、Fであり；

R2は、各々独立してH、F、Cl、Br、(C₁-C₆)-アルキル、CF₃、OCF₃、O-(C₁-C₆)-アルキル、COO(C₁-C₆)-アルキル、COOH、CO-(C₁-C₆)-アルキル、(C₀-C₆)-アルキル-COOH、(C₀-C₆)-アルキル-COO(C₁-C₆)-アルキル、SO₂-(C₁-C₆)-アルキルであり；

R3は、OH、(C₁-C₆)-アルキル、(C₀-C₆)-アルキル-アリール、O-(C₁-C₆)-アルキル、O-(C₂-C₆)-アルケニル、O-(C₂-C₆)-アルキニルであり、ここで、該アルキル、アリール、アルケニル及びアルキニル基は、F、Cl又はBrにより単-又は多置換されてもよくな；

Xは、OH、O-(C₁-C₆)-アルキル、NH₂、NH(C₁-C₆)-アルキル、N((C₁-C₆)-アルキル)であり；

Aは、Nであり；

B、D、Eは、CHであり；

mは1、2である、

請求項1又は2の式Iの化合物、及びその生理学的に受容可能な塩。

【請求項4】

R1は、H、Fであり；

R2は、H、Cl、(C₁-C₆)-アルキル、CF₃、COO(C₁-C₆)-アルキル、COOHであり；

R3は、H、フェニルであり；

Xは、OH、O-(C₁-C₆)-アルキル、NH₂、NH(C₁-C₆)-アルキル、N((C₁-C₆)-アルキル)であり；

Aは、Nであり；

B、D、Eは、CHであり；

mは2である、

請求項 1 ~ 3 のいずれかの式 I の化合物、及びその生理学的に受容可能な塩。

【請求項 5】

請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載された 1 つ又はそれ以上の化合物を含む医薬品。

【請求項 6】

請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載された 1 つ又はそれ以上の化合物、及び、少なくとも 1 つの更なる活性成分を含む医薬品。

【請求項 7】

更なる活性成分として、1 つ又はそれ以上の、抗糖尿病剤、血糖降下活性成分、HMG-C_oA還元酵素阻害剤、コレステロール吸収阻害剤、PPAR 作動剤、PPAR 作動剤、PPAR / 作動剤、フィブレート、MTP 阻害剤、胆汁酸吸収阻害剤、CETP 阻害剤、ポリメリック胆汁酸吸着剤、LDL 受容体誘導剤、ACAT 阻害剤、抗酸化剤、リポプロテインリパーゼ阻害剤、ATP-クエン酸リアーゼ阻害剤、スクアレン合成酵素阻害剤、リポプロテイン(a)拮抗剤、リパーゼ阻害剤、インスリン、スルホニル尿素、ビグアニド、メグリチニド、チアゾリジンジオン、-グルコシダーゼ阻害剤、細胞のATP-依存性カリウムチャネルに作用する活性成分、CAR-T 作動剤、NPY 作動剤、MC4 作動剤、オレキシン作動剤、H3 作動剤、TNF 作動剤、CRF 作動剤、CRFB P 拮抗剤、ウロコルチン作動剤、3 作動剤、MSH(メラノサイト刺激ホルモン)作動剤、CCK 作動剤、セロトニン再取込阻害剤、混合型セロトニン作動性及びノルアドレナリン作動性化合物、5HT 作動剤、ボンベシン作動剤、ガラニン拮抗剤、成長ホルモン、成長ホルモン放出性化合物、TRH 作動剤、脱共役プロテイン 2 もしくは 3 調節剤、レブチン作動剤、DA 作動剤(プロモクリプチニン、ドブレキシン)、リパーゼ/アミラーゼ阻害剤、PPAR 調節剤、RXR 調節剤、TR- 作動剤又はアンフェタミンを含む、請求項 6 記載の医薬品。

【請求項 8】

血糖を減少させる医薬品を製造するための、請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の化合物の使用。

【請求項 9】

二型糖尿病の治療用医薬品を製造するための、請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の化合物の使用。

【請求項 10】

脂質及び炭水化物の代謝障害の治療用医薬品を製造するための、請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の化合物の使用。

【請求項 11】

動脈硬化性症状の治療用医薬品を製造するための、請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の化合物の使用。

【請求項 12】

インスリン抵抗性の治療用医薬品を製造するための、請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の化合物の使用。